日野市指定史跡「上人塚（しょうにん）」が整備され、新しい説明看板ができました

日野市指定史跡「上人塚」の整備に伴い、新しく説明看板が設置されました。説明看板には、英文も併記されますが、限られたスペースなので、大意をつかんで訳したものになります。中学生の皆さん、左記の説明文と英文を見比べながら、英文読解にチャレンジしてみませんか。

日野市指定史跡
上人塚

昭和36年10月1日指定

元禄年間の文書に「請人塚（しょうにんづか）」という記述があることから、江戸時代にはすでに存在していたと考えられます。

塚の由緒についてはいくつかの説があります。一つには、美濃（現在の岐阜県）から移り住み、日野用水を開削するなど日野発展の基礎を築いた佐藤隼人（はやと）を称えるため、隼人の業績を記した書を埋納したものとされます。また、かつてこの一帯が荒れ野だった時に、狸や狐が上人に化けて甲州道中を行く人をたぶらかしたため、「上人塚」（上人…僧の敬称）の名が付いたとも伝えられます。

平成18年（2006）から行われた発掘調査の結果、この塚の基部には黒土を突き固めて築いた一辺15メートル余りの方形の中世の塚があり、その上に江戸時代の円形の塚がかぶさっていることが明らかになりました。塚の性格は不明ですが、祭祀を行なった場所か、土地の境界を示す標識として築かれたものと推測されます。

※「上人塚」は日野自動車㈱の敷地内にあるため、常時公開していません。そこで毎年秋に開催される東京都教育委員会の東京文化財ウィークで「塚つかウォーク」を行い、一般公開します。『広報ひの』で詳細をお知らせしますので、ぜひご参加ください。（生涯学習課）

整備された上人塚

It is thought that it existed in the Edo period because there is a description "Guarantor tomb" in the document during year of the Genroku era. As a result of the excavation investigation that had been done from 2006 ,it was clarified to the base of this tomb for square tomb of the Middle Ages of the remainder by 15 meters to exist and to cover a round tomb in Edo period about one that tamped the blackland.

Hino Board of Education

夏休みには、郷土資料館で日野市のことを調べてみよう。

突然ですが問題です。日野市の誕生日はいつでしょう？

答えは、昭和38年（1963）11月3日です。つまり、あと2年後には、日野市は50歳の誕生日を迎えるわけです。

いま郷土資料館では、この50年の間に日野市でどんな出来事がおこったのかを調べています。

図1と図2をくらべて見て下さい。図1は昭和30年代の初め頃、図2は平成19年頃の土地の利用を表したものです。田畑や山林だった場所は、ほとんど宅地へと姿を変えています。市制施行のとき約5万人だった人口は、現在では約17万人を超えています。

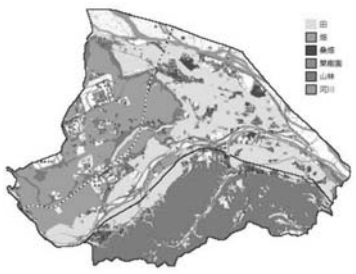
図1［昭和30年代初め］

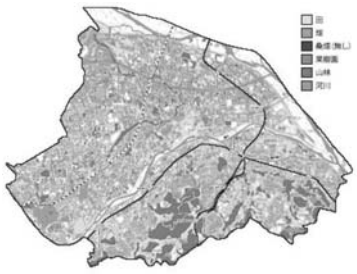
図2［平成19年頃］

特に昭和30～40年代の開発による急激な人口増加は、小・中学校の教室が足りなくなるという事態をまねきました。とりわけ深刻だったのは、大量の下水の処理が不十分なまま河川や用水に流れ込んで汚染が進み、農作物や水生生物に被害が出たり井戸水が飲めなくなるなどの問題が起きたことでした。

このような出来事について調べた企画展を、7月16日（土）から、郷土資料館1階展示室で行ないます。新聞だけではなく、航空写真や地形図なども用いて、見てわかりやすい展示を心がけました。

ところで、皆さんは郷土資料館がどこにあるか知っていますか？高幡不動駅から約20分歩いた、高幡台団地の中にあります。もとは高幡台小学校だった場所に、平成17年にふるさと博物館が移転して郷土資料館になりました。日野市に関する歴史、民俗、自然の分野について、展示や研究、資料の保存につとめています。

夏休みは他にも妖怪絵巻のパネル展や子ども講座など、いろいろなイベントを開催していますので、ご家族そろって遊びにいらして下さい。自由研究のお手伝いもします。

企画展
新聞記事で見る日野市のあゆみ50年
－2011－

【会　期】7月16日（土）～12月11日（日）
入場無料
【休館日】毎週月曜
※祝日の場合は開館し、翌日休館
【電　話】592－0981
【ホームページ】
http://www.city.hino.tokyo.jp/museum/

（郷土資料館）

図書館に行ってみよう♪ 小学校3年生に向けての取組み

〈学校訪問〉

図書館では毎年、全小学校の3年生に向け学校訪問を行っています。内容は、図書館利用案内と楽しい本の紹介です。学校訪問も今年で26年目になりました。クラスを訪れ、学校での子どもたちの活気と笑顔に出会うことができる、図書館員にとっても貴重な機会です。

絵本の読み聞かせ、耳から言葉を楽しみ、想像力を刺激されるおはなし、あるテーマで本を紹介するブックトークなど、3年生が興味を持つようなプログラムを用意します。子どもたちは体育の後で汗をかいていようが、おなかが減っていようが、面白い！と思った時にはぐぐっと集中し、反応もさまざまです。おかしい話には、くすくす笑い声が出、オチでは大爆笑になったり・・・。終了後、本を手にとって、「続きが読みたいから今度借りに行く！」とダイレクトな反応を返してくれる子どもたちに、こちらも元気をもらいます。

ふだんあまり図書館を訪れない子どもたちにも、読書の楽しさを知り、これから情報の海を泳いでいくための第一歩の手助けができるよう努めていきます。ご来館をお待ちしています。

〈図書館見学〉

5月20日、近くの小学校3年生の皆さんが多摩平図書館に見学に来ました。2クラスに分かれて図書館の利用方法の説明と館内の案内を交互に受けてもらいました。分類を説明するために用意した本を見て「それ読んだことある！」「おもしろかったよね！」などと元気な声も上がりました。質問コーナーでは「怖い本は何冊ありますか？」や「一番ページ数の多い本は？」など普段あまり受けない鋭い質問もあり、次はどんな質問をされるかどきどきでした。開館前の短い時間ではありましたが、こちらも充実した時間を持つ事ができました。

図書館は調べ学習にも役に立ちますが、自分の好きな一冊を目で見て選べるのも魅力の一つです。最初は何を読んだら良いか分からなくても、何冊か読むうちに自分のお気に入りの本を見つけることができれば、読書の可能性も広がり、何か壁にぶつかった時にも思いがけない力になることがあると思います。今回の見学で図書館っておもしろそう、また行ってみたいと思っていただければ、これほど嬉しいことはありません。

（図書館）

さあ、夏休み、中央公民館の講座やイベントで新しい発見！

中央公民館では、夏休みに子どもの参加できる様々な講座やイベントを開催します。

夏休みの事業として7月30日（土）に「里山へ行ってみよう！」を開催します。市内の里山を観察し、生物の多様なつながりや支えあいを目で見て、触れて、身近な環境を分かりやすく学びましょう。

また同日に「日野産ブルーベリーでパンを作ろう」を実施します。この講座ではブルーベリーの摘み取りを体験し、ブルーベリージャムパンやブルーベリー入りの食パン作りを親子で楽しめます。

8月9日（火）～13日（土）の間で全10児童館を会場に子どもたちが平和を考える機会として「子ども平和アニメ映画会と紙芝居の読み聞かせ」を開催し、「さよならカバくん」、「ながさきの子うま」、「野ばら」を上映します。

児童館毎に上映作品や時間帯が異なりますのでご注意ください。

夏の締め括りとして「夏休み小学生集まれ！わくわく学習術～体験・発見の夏」を8月24日（水）～26日（金）の3日間で開催いたします。

夏休みに異年齢の子どもたちが学区域を越えて集い、普段経験できない「食」や「ものづくり」を体験し、学んでもらうために企画しました。毎年人気の小学生を対象とした夏休み最後の講座です。

公民館の講座の募集詳細は、市広報に掲載しますのでご期待ください。

多くの小学生のみなさんの参加をお待ちしています。

アフリカンドラムを楽しむ

【問合せ先】
日野市中央公民館
（日野市日野本町7丁目5番地の23）
電話：581－7580